

ビルマ第六回仏典結集版三蔵経典（パーリ聖典・註釈書・復註書）について

原田 正美（大阪大学外国語学部非常勤講師）

2021年11月、ビルマ文字によるパーリ語文献「ビルマ第六回仏典結集版三蔵経典」116冊が新たに国立国会図書館関西館アジア情報室の蔵書となった。ビルマ第六回仏典結集版とは、ミャンマーで1954～56年にかけて行われたビルマ第六回仏典結集¹の成果であり、一般に聖典40冊と註釈書類77冊を擁する117冊を指す²。

本稿は、このビルマ第六回仏典結集版三蔵経典の特徴を、ミャンマーの経典伝持の伝統とともに紹介することを目的とする。まず、仏典結集を経て、117冊をひとまとまりとするミャンマーの経典観が形成され、経典伝持の媒体が今日まで刊本117冊として定着している歴史的経緯について説明する。次に、文献のリストと国内所蔵の状況について紹介する³。

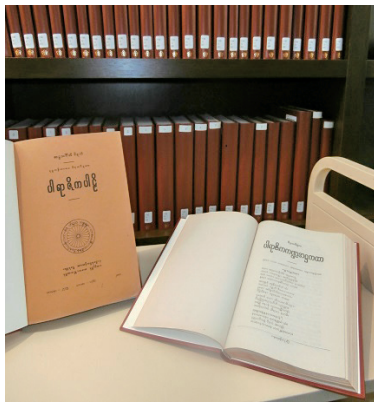


図1 関西館アジア情報室所蔵のビルマ第六回仏典結集版三蔵経典

1. 出版に至る経緯

[仏典結集とは]

上座部仏教の経典は、諸部派の経典同様、ブッダの入滅後に口伝によって伝授された。

それが内容と形式により次第に分類整理されていった。それらは記憶の中で保持されていたが、年月を経るにしたがって、統一し、編集する必要が出てきた。そのため、共に誦出⁴することで聖典として確定する結集が行われてきた。

第一回仏典結集はブッダ入滅の年にラージャガハで行われた。ウーパーリーが律を、アーナンダがブッダの法（経）を誦出したと伝えられる。その後は、専門に暗誦する者がそれらを伝えたが、ブッダ入滅後約100年で、戒律に対する解釈の違いなどで対立が生じたため、第二回仏典結集が行われた。さらに、紀元前3世紀のアソーカ王の治世に、第三回仏典結集が行われ、論蔵を含む正法の原型が確立されたと言われる。そして、南方上座部では、紀元前1世紀頃、スリランカにおいて貝葉上に経典書写が行われたことをもって第四回仏典結集と呼んでいる。数百年間、口誦で伝承されてきた経典が、このとき初めて書写され、註釈書類も整えられていったとされる。

[ミャンマーにおける仏典結集]

ミャンマーにも11世紀に、貝葉に書写された聖典がモン王朝経由でバガン王朝にもたらされた。それ以降、仏典研究の歴史は連続と続き、パーリ語、ビルマ語による多くの典籍が編纂された。

ミャンマーにおけるテラワダ（上座部仏教）の伝統はしかしながら、19世紀の英領植民地化により存続の危機に直面し、経典はより堅固な媒体により伝持されることが求められるようになった。そのため、ミンドン王は三蔵経典を校訂し、宮廷内で大理石に聖

¹ ブッダの入滅後に行われた聖典編集のための集会を結集（けつじゅう）という。

² 国立国会図書館の所蔵文献では1冊を欠く。

³ 筆者は、2021年4月から2022年3月にかけて、国立国会図書館非常勤調査員として、同館関西館アジア情報室が所

蔵するビルマ語資料の整理等に携わった。本稿は、筆者が関西館アジア情報課在職中に執筆したものである。

⁴ 記憶している経典を唱えて、他に示すことを誦出（じゆしゅつ）という。

典を刻記させ、クドドーパゴダを建立して、その大理石写本を設置した(1868年)。そして、1871年に仏典誦唱の結集会が約5か月間にわたって挙行された。ミャンマーでは、この事業を第五回仏典結集と呼ぶ。その後、クドドーパゴダに次いで、カナウン皇太子建立のサンダムニパゴダにアッタカター⁵(註釈書)・ティーカー⁶(復註書)が刻記された大理石パゴダが建立された。

[書物としての経典]

そのようにして堅固に建立された729枚の三蔵経典の大理石写本は、正統聖典として、その後の刊本化の底本となった。19世紀末に、三蔵経典を最初に出版したのは、ハンタワディ出版社であった。その創設者リプレイ(Philip H. Ripley)は、ミンドン王により目を掛け

られ、王の養子となって、ティーボー王子らとともに幼少期を過ごした人であった。1886年にハンタワディ印刷を立ち上げ、イギリスでさらに印刷の勉強をしたのち、1897年にハンタワディ出版社を創設した。そしてマングレーのクドドーパゴダの大理石に刻記された三蔵経典を、400頁、38冊からなる印刷本として出版した⁸。

その後1948年にビルマは独立を果たしたが、国民国家ビルマにおいては、三蔵経典の世界的規模の校訂が行われることになった。それが第六回結集である⁹。その結集の底本と

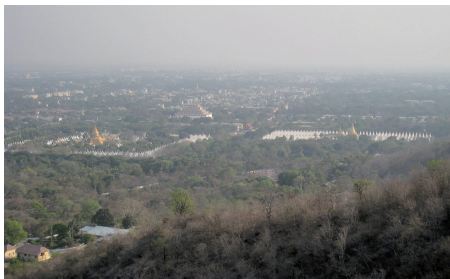


図2⁷ クドドーパゴダ(右)とサンダムニパゴダ(左)



図3 クドドーパゴダ内。祠の一つ一つに経典が納められている。



図4 祠の外から大理石写本が見える。



図5 祠内の大理石写本(鉄格子の隙間から写本のみ撮影)。

⁵ アッタカターとは、ブダゴーサ(370-450頃)の時代にセイロンの大寺派において完成を見たパーリ聖典の直接の註釈を指す。

⁶ ティーカーとは、ダンマパーラ(12世紀頃?)らにより著された復註類のことで、アッタカターの解釈に不明がある場合に参照される。

⁷ 図2から図5は、いずれも筆者撮影(2010年)。

⁸ 原田正美「第5章 古典「文学」というナラティブービルマ語仏教散文『ヤタワッダナウットウ』が「文学」になるまで」小泉順子編『歴史の生成：叙述と沈黙のヒストリオ

グラフィ』京都大学学術出版会、2018【GE511-L30】pp.216-217。(【】内は国立国会図書館請求記号。以下同じ)

⁹ 第五回、第六回ビルマ仏典結集に至る経緯を含め、近・現代ビルマにおける経典仏教の変遷については、原田正美「第九章 近現代ビルマ(ミャンマー)における「経典仏教」の変遷—<実践><制度><境域>の視点から」林行夫編著『<境域>の実践宗教—大陸部東南アジア地域と宗教のトポロジー』京都大学学術出版会、2009【HK41-J13】pp.449-506も参照されたい。

なったのが、第五回結集で大理石に刻まれていたビルマ文字版パーリ語經典であった。セイロン、タイ、カンボジア、PTS (Pali Text Society) などの各版を参照して補正し、長老、学問僧らが完璧を期した。この聖典は学問的価値も高いとされる。そしてそれに続いて註釈書類、さらには学生用解説テキスト、ビルマ語逐語訳なども出版された¹⁰。

[第六回仏典結集後もアッタカター、ティーカーまでを重視するミャンマーの經典観]

パーリ聖典のみならず、アッタカター、ティーカーまでを第六回結集版に含めるのは、上述の植民地時代にそれらの大理石写本パゴダが建造されたことに大いに関係していると考えられる。

そして、第六回仏典結集に先駆けて始まった三蔵憶持試験¹¹がその後も続けられたことと、さらにネーウィン政権下の全宗派合同会議 (1980年) により、サンガ (僧団) が国家の管理体制下に置かれ、思想や教理に対する弾劾の基準が、經典に収斂することで示されるようになったこととも関係があるであろう¹²。

ミャンマーにおける仏教学の最高学府である国際上座仏教布教大学 (International Theravāda Buddhist Missionary University : ITBMU) の事務局長による「ミャンマー、スリランカ、タイ、カンボジア、ラオスの上座仏教5カ国中、ミャンマーでのみ、パーリ、アッタカター、ティーカーを三位一体にした教授法が存在する。他の諸国では抜粋程度しか教授されていない。また、律・経・論の三蔵とも教授しているのはミャンマーだけであ

り、他の国々では論蔵の教授は極めて低調である」との言葉は、上座部仏教圏におけるミャンマー伝統の教学の立場を他国との比較で物語っていて興味深い¹³。

ミャンマーでは2021年2月に国軍によるクーデターが起きたが、そのクーデター政権は、世界で一番大きい仏像 (座像) の建設を推し進めるとともに、パーリ聖典、アッタカター、ティーカーをローマナイズした石碑を立てるという計画を推進している¹⁴。このことは、今後どのような経緯をたどり、後世どのように意義づけられることになるのであろうか。

いずれにしても、第六回結集版が聖典のみならず、註釈書、復註書までを含める点は、植民地期、独立を経て現在まで連続と続く、当地の歴史と經典仏教の相互作用の中で生まれた伝統として捉えることができよう。

2. ビルマ第六回仏典結集版三蔵經典の構成と国内所蔵の状況

[資料構成]

今回アジア情報室の蔵書となったビルマ第六回仏典結集版三蔵經典は、聖典40冊、アッタカター50冊 (1冊を欠く)、ティーカー26冊の計116冊である。それらを律、経、論に分け、それぞれ聖典に対する註釈書、復註書を整理すると章末の表の通りである¹⁵。

[国内の所蔵状況]

現在、愛知学院大学では、書庫内に117冊がひとまとまりになって所蔵されていること

¹⁰ 池田正隆『ビルマ仏教：その歴史と儀礼・信仰』法蔵館,1995【HM71-G1】p.30.

¹¹ 聖典8027頁を暗誦できアッタカター、ティーカー9934頁の内容を答えることのできる三蔵憶持師を頂点とする、三蔵暗誦を認定する試験

¹² 經典、アビダンマ重視の立場とその制度化については、原田正美「ミャンマーアビダンマ学習にみる統制下の伝統と信仰」木村文輝編『挑戦する仏教：アジア各国の歴史といま』法蔵館,2010【HM61-J21】pp.133-148で若干の考察を行った。

¹³ 奥平龍二「ミャンマー上座仏教の制度改革：「国家仏教学大学」創設の意義、成果及びその役割」『パーリ学仏教文化

学 = Journal of Pali and buddhist studies』【Z9-827】(18) 2005.2, pp.31-44.

¹⁴ မြန်မာ့အလင်း 2022.1.9, p.3.

<<https://moi.gov.mm/mal/9-jan-22>> (最終アクセス：2022.5.10) 2022年1月8日、防衛省防衛局 (陸軍) カンミンタン中将、宗教文化省ウー・コーコー大臣らが、訪緬中のカンボジアのフンセン首相に、マラーウイザヤブダ公園内に設置予定のパーリ聖典、アッタカター、ティーカーのローマナイズの三蔵經典石板について説明している写真が掲載されている。

¹⁵ 表中の()内は巻、[]内は別名を示す。

が確認されている¹⁶。また、東京大学、花園大学においてもその殆どが確認され、京都大学、東洋大学、北海道大学、龍谷大学、大谷大学、国際仏教学大学院大学、駒澤大学などでも所蔵が確認されている¹⁷。それらの蔵書

とともに、本文献がビルマ仏教さらには上座部仏教のさらなる解明に寄与することを願ってやまない。

(はらだ まさみ)

表 ビルマ第六回仏典結集版三蔵経典

パリー聖典	請求記号	アッタカター (註釈書)	請求記号	ティーカー (復註書)	請求記号	
ဝိနယပိဋက Vinayapitaka 律藏						
ပါရာဇိကပါဠိ Pārājikapāli	波羅夷	Y746-TS-637	ပါရာဇိကဏ္ဍအဋ္ဌကထာ(၁)(၂) Pārājikakandaatthakathā	Y746-TS-669		
ပါစိတ္တိယပါဠိ Pācittiyapāli	波逸提	Y746-TS-638	ပါစိတ္တိယအဋ္ဌကထာ [သမုပ္ပါသာဒိကာ] Pācīyādiatthakathā	Y746-TS-670	ဝိရုဒ္ဓိတီကာ Vajirabuddhiṭkā	Y746-TS-702
မဟာဝဂ္ဂပါဠိ Mahāvaggapāli	小品	Y746-TS-639			သာရတ္ထဒီပနီတီကာ(၁)(၂)(၃) Sāraṭṭhadīpanīṭkā	Y746-TS-703
စူလဝဂ္ဂပါဠိ Cūlavaggapāli	小品	Y746-TS-640			ဝိမတိဝိနောဒနီတီကာ(၁)(၂) Vimativinodanīṭkā	Y746-TS-704
ပရိဝါရပါဠိ Parivārapāli	附随	Y746-TS-641	ကင်္ခါဝိတရဏီပုရာဏတီကာ Kaṅkhaṅgāvataraṇīpuraṇaṭṭhā	Y746-TS-672	ကင်္ခါဝိတရဏီအဘိဓမ္မာတီကာ Kaṅkhaṅgāvataraṇībhīṣaṅgāṭṭhā	Y746-TS-705
သုတ္တနိပိတက Suttantapitaka 経藏						
ဒီဃနိကာယ Dīghanikāya 長部						
သီလက္ခန္ဓဝဂ္ဂပါဠိ Sīlakkhandhavaggapāli	戒蘊篇	Y746-TS-642	သီလက္ခန္ဓဝဂ္ဂကထာ Sīlakkhandhavaggatthakathā	Y746-TS-674	သီလက္ခန္ဓဝဂ္ဂတီကာ Sīlakkhandhavaggaṭṭhāṭṭhā	Y746-TS-706
					သီလက္ခန္ဓဝဂ္ဂအဘိဓမ္မာတီကာ(၁)(၂) [သာဓုဝိလာသီနီ] Sīlakkhandhavaggaabhinavaṭṭhā	Y746-TS-707
မဟာဝဂ္ဂပါဠိ Mahāvaggapāli	大篇	Y746-TS-643	မဟာဝဂ္ဂကထာ Mahāvaggatthakathā	Y746-TS-675	မဟာဝဂ္ဂတီကာ Mahāvaggaṭṭhāṭṭhā	Y746-TS-708
ပါထိကဝဂ္ဂပါဠိ Pāthikavaggapāli	ပါတီကာ 篇	Y746-TS-644	ပါထိကဝဂ္ဂကထာ Pāthikavaggatthakathā	Y746-TS-676	ပါထိကဝဂ္ဂတီကာ Pāthikavaggaṭṭhāṭṭhā	Y746-TS-709
မဇ္ဈိမနိကာယ Majjhimanikāya 中部						
မူလပဏ္ဏာသပါဠိ Mūlapaṇṇāsapāli	根本五十經 篇	Y746-TS-645	မူလပဏ္ဏာသပါဠိကထာ(၁)(၂) [ပဉ္စသုဒ္ဓါနီ] Mūlapaṇṇāsattthakathā	Y746-TS-677	မူလပဏ္ဏာသပါဠိကထာ(၁)(၂) Mūlapaṇṇāsattthāṭṭhā	Y746-TS-710
မဇ္ဈိမပဏ္ဏာသပါဠိ Majjhimapaññāsapāli	中分五十經 篇	Y746-TS-646	မဇ္ဈိမပဏ္ဏာသပါဠိကထာ [ပဉ္စသုဒ္ဓါနီ] Majjhimapaññāsattthakathā	Y746-TS-678	မဇ္ဈိမပဏ္ဏာသပါဠိကထာ Majjhimapaññāsattthāṭṭhā	Y746-TS-711
ဥပါရိပဏ္ဏာသပါဠိ Uparipaṇṇāsapāli	後分五十經 篇	Y746-TS-647	ဥပါရိပဏ္ဏာသပါဠိကထာ [ပဉ္စသုဒ္ဓါနီ] Uparipaṇṇāsattthakathā	Y746-TS-679	ဥပါရိပဏ္ဏာသပါဠိကထာ Uparipaṇṇāsattthāṭṭhā	
သံယုတ္တနိကာယ Samyuttanikāya 相应部						
သင်္ဂဟတဂ္ဂနိဒါနဝဂ္ဂပါဠိ Sagāthāvagga, Nidā	有偈篇、因 緣篇	Y746-TS-648	သံယုတ္တကထာ(၁)(၂)(၃) [သာရတ္ထပုပ္ဖာသီနီ] Samyuttatthakathā	Y746-TS-680	သံယုတ္တတီကာ(၁)(၂) Samyuttaṭṭhāṭṭhā	Y746-TS-712
ခန္ဓဝဂ္ဂ သဗ္ဗာယတနဝဂ္ဂပါဠိ Khandhavagga, Saḥā	蘊篇、六处 篇	Y746-TS-649				
မဟာဝဂ္ဂသံယုတ္တပါဠိ Mahāvaggasamyuttapāli	大篇	Y746-TS-650				
အင်္ဂုတ္တရနိကာယ Aṅguttaranikāya 增支部						
ဧကကဒ္ဒကတီကာ စတုက္ကနိပါတီပါဠိ Ekaka, Duka, Tika, Catukkanipātapāli	一集、二 集、三集、 四集	Y746-TS-651	အင်္ဂုတ္တရကထာ(၁)(၂)(၃) [မနောရထပုရဏီ] Aṅguttaratthakathā	Y746-TS-681	အင်္ဂုတ္တရနိကာယ(၁)(၂)(၃) [သာရတ္ထမဉ္ဇူသာ] Aṅguttaraṭṭhāṭṭhā	Y746-TS-713
ပဉ္စကဆက္က သတ္တကနိပါတီပါဠိ Pañcaka, Chakka, Sattakanip ātapāli	五集、六 集、七集	Y746-TS-652				
အဋ္ဌကနဝကဒ္ဒက ကောသကနိပါတီပါဠိ Atthaka, Navaka, Dasaka, Ek ādasakanipātapāli	八集、九 集、十集、 十一集	Y746-TS-653				

¹⁶ この蔵書の確認については、愛知県弘誓院の僧侶秋田尚文氏の協力、及び大谷大学非常勤講師清水洋平氏からの助言を得た。記して感謝申し上げる。

¹⁷ CiNii Books、各大学図書館のOPACを検索して所蔵を確認した。

ခုဒ္ဒကနိကာယ Khuddakanikāya 小部						
ခုဒ္ဒကပါဠိဋ္ဌာန ဣတိဝုတ္တက သုတ္တန်ပါတပါဠိ Khuddakapāṭha, Dhammapada, Udāna, Itivuttaka, Suttanipāṭapāli	小誦、法 句、自說、 如是語、經 集	Y746-TS-654	ခုဒ္ဒကပါဠိဋ္ဌာနကထာ [ပရမတ္ထဇောတိကာ] Khuddakapāṭhatthakathā	Y746-TS-682		
			ဓမ္မပဒဋ္ဌာနကထာ(၂) Dhammapadatthakathā	Y746-TS-683		
			ဥဒါနဋ္ဌာနကထာ [ပရမတ္ထဒီပနီ] Udānatthakathā	Y746-TS-684		
			ဣတိဝုတ္တကဋ္ဌာနကထာ [ပရမတ္ထဒီပနီ] Itivuttakatthakathā	Y746-TS-685		
			သုတ္တန်ပါတဋ္ဌာနကထာ(၂) [ပရမတ္ထဇောတိကာ] Suttanipāṭatthakathā	Y746-TS-686		
ဝိမာနဝတ္ထုပေတဝတ္ထု ထေရဂါထာ ထေရဂါထာ ပါဠိ Vimānavatthu, Petavatthu, Theragāthā, Therīgāthāpāli	天宮事、餓 鬼事、長老 偈、長老尼 偈	Y746-TS-655	ဝိမာနဝတ္ထုအဋ္ဌကထာ Vimānavatthuattthakathā	Y746-TS-687		
			ပေတဝတ္ထုအဋ္ဌကထာ Petavatthuattthakathā	Y746-TS-688		
			ထေရဂါထာအဋ္ဌကထာ(၂) Theragāthāattthakathā	Y746-TS-689		
			ထေရဂါထာအဋ္ဌကထာ [ပရမတ္ထဒီပနီ] Therīgāthāattthakathā	Y746-TS-690		
အပဒါနပါဠိ(၁) Apadānapāli, အပဒါနပါဠိ(၂), ဗုဒ္ဓဝိသုဒ္ဓိ စရိယာပိဋကပါဠိ Apadānapāli, Buddhavaṃsapā li, Cariyāpitakapāli	譬喻、仏種 姓、所行藏	Y746-TS-656	အပဒါနဋ္ဌာနကထာ(၂) [ဝိသုဒ္ဓိစရိ ယာပိဋကပါဠိ] Apadānatthakathā	Y746-TS-691		
			ဗုဒ္ဓဝိသုဒ္ဓိကထာ[မရမတ္ထဝိလာသီနီ] Buddhavaṃsatthakathā	Y746-TS-692		
			စရိယာပိဋကဋ္ဌာနကထာ[ပရမတ္ထဒီပနီ] Cariyāpitakatthakathā	Y746-TS-693		
ဇာတကပါဠိ(၁)(၂) Jātakapāli	本生	Y746-TS-657	ဇာတကဋ္ဌာနကထာ(၁)(၂)(၃)(၄)(၆)(၇) Jātakatthakathā	Y746-TS-694		
မဟာနိဒ္ဒေသပါဠိ Mahāniddesapāli	大義釈	Y746-TS-658	မဟာနိဒ္ဒေသဋ္ဌာနကထာ [သဒ္ဓမ္မပုဇ္ဇောတိကာ] Mahāniddesatthakathā	Y746-TS-695		
စူဠနိဒ္ဒေသပါဠိ Cūlaniddesapāli	小義釈	Y746-TS-659	စူဠနိဒ္ဒေသဋ္ဌာနကထာ [သဒ္ဓမ္မပုဇ္ဇောတိကာ] Cūlaniddesatthakathā, နေတ္တိအဋ္ဌကထာ Nettiatthakathā	Y746-TS-696	နေတ္တိဋ္ဌာနကထာ Nettiṭṭikā, နေတ္တိဝိဘာဝိနီ Nettivibhāvinī	Y746-TS-714
ပဋိသမ္ဘိဒါမဂ္ဂပါဠိ Paṭisambhidāmaggapāli	無碍解道	Y746-TS-660	ပဋိသမ္ဘိဒါမဂ္ဂဋ္ဌာနကထာ(၁)(၂) [သဒ္ဓမ္မပုဋ္ဌာနကထာ] Paṭisambhidāmaggatthakathā	Y746-TS-697		
နေတ္တိ ပေဋကောပဒေသပါဠိ Netti, Petakopadesapāli	導論、藏釈	Y746-TS-661				
မိလိန္ဒပုပ္ဖပါဠိ Milindapañhapāli	弥蘭王問	Y746-TS-662				
အဘိဓမ္မပိဋက Abhidhammapīṭaka 論藏						
ဓမ္မသင်္ဂဏီပါဠိ Dhammasaṅgaṇīpāli	法集論	Y746-TS-663	အဋ္ဌသာလိနီအဋ္ဌကထာ Atthasālinīattthakathā	Y746-TS-698	ဓမ္မသင်္ဂဏီမူလဋ္ဌာနကထာ Dhammasaṅgaṇīmulattthakathā, ဓမ္မသင်္ဂဏီအနုဋ္ဌာနကထာ Dhammasaṅgaṇīanuttthakathā	Y746-TS-715
ဝိဘင်္ဂပါဠိ Vibhaṅgapāli	分別論	Y746-TS-664	သမ္မောဟဝိနောဒနီအဋ္ဌကထာ Sammohavinodanīattthakathā	Y746-TS-699	ဝိဘင်္ဂမူလဋ္ဌာနကထာ Vibhaṅgamūlatthakathā, ဝိဘင်္ဂအနုဋ္ဌာနကထာ Vibhaṅganuttthakathā	Y746-TS-716
ဓာတုကထာ ပုဂ္ဂလပညတ္တိပါဠိ Dhātukathāpāli, Puggalapaññ attipāli	界論、人施 設論	Y746-TS-665	ပဉ္စပကရဏအဋ္ဌကထာ Pañcapakarāṇaattthakathā	Y746-TS-700	ပဉ္စပကရဏမူလဋ္ဌာနကထာ Pañcapakarāṇamūlatthakathā, ပဉ္စပကရဏအနုဋ္ဌာနကထာ Pañcapakarāṇanuttthakathā	Y746-TS-717
ကထာဝတ္ထုပါဠိ Kathāvatthupāli	論事	Y746-TS-666				
ယမကပါဠိ(၁)(၂)(၃) Yamakapāli	双論	Y746-TS-667				
ပဋ္ဌာနပါဠိ(၁)(၂)(၃)(၄)(၅) Paṭṭhānapāli	發趣論	Y746-TS-668				
			ဝိသုဒ္ဓိမဂ္ဂ(၁)(၂) Visuddhimaggā	Y746-TS-701	ဝိသုဒ္ဓိမဂ္ဂမဟာဋ္ဌာနကထာ(၁)(၂) [ပရမတ္ထမဉ္ဇူသာ] Visuddhimaggamahāṭṭikā	Y746-TS-718
32件 40册			33件 51册 (ပဋိသမ္ဘိဒါမဂ္ဂဋ္ဌာနကထာ 【Y746-TS-697】 第1 巻が欠号のため、33件50册)		17件 26册	